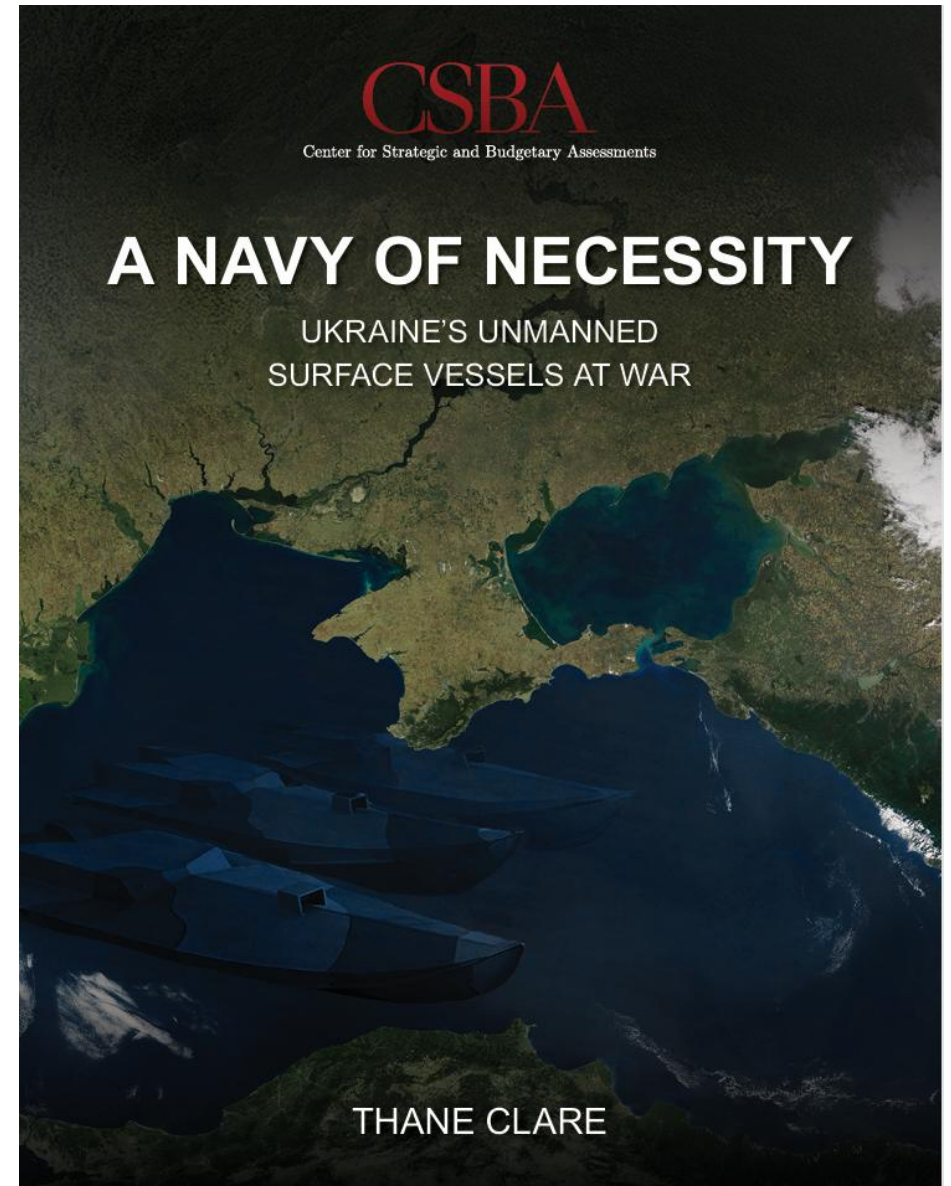


[CSBA8411_Navy_of_Necessity_Report_Final_Web.pdf](#)

https://csbaonline.org/wp-content/uploads/2026/04/CSBA8411_Navy_of_Necessity_Report_Final_Web.pdf

原典資料1



A Navy of Necessity：ウクライナの無人水上艇（USV）の実戦 — 要約 (1/2)

背景：海軍を失った国の海洋戦略

2022年の全面侵攻初期にウクライナ海軍は事実上壊滅し、上陸の脅威と海上通商の遮断に直面した。しかし2023年半ばには黒海艦隊を守勢に追い込み、穀物の海上輸出を再開させた。

中核主張：ミニマム・バイアブル・ウォーフェア

完成度の高い兵器を待つのではなく、戦略的敗北を防ぐのに「十分な速さ」で海上拒否能力を投入する考え方。あらゆる対抗策を凌駕できなくとも、即時に戦場へ出すことを優先した。

手段：即席の無人水上艇（USV）

民生部品を転用した改造USVによる海上拒否作戦は、USVの大規模な実戦運用として史上初の事例となった。

4つの主要テーマと米国・同盟国への示唆 — 要約(2/2)

① 海上拒否への決定的な貢献

USVは限られた資源で敵艦隊の行動の自由を奪い、海上拒否の主役となった。

② 対艦能力のレンジ・エクステンダー

沿岸からの射程の限界を越え、ウクライナの対艦攻撃力を黒海の奥へ延伸させた。

③ 対艦から対空へ — クロスドメイン化

任務は対艦攻撃から対空を含む多領域へと拡張し、単機能の兵器から汎用プラットフォームへ進化した。

④ ロシアとの手段・対抗手段の競争

ロシアの妨害・対抗策に対し、設計と戦術を更新し続ける計測と対抗の反復競争が続いた。

米国・同盟国への含意

報告書は他の戦域でのUSV運用の可能性と限界を整理し、計画担当者への検討事項を提示する。

The Quick and the Dead:How Adaptation in Contact Drives Military Advantage
BRYAN CLARK, IAN CRONE, DAN PATT, HUDSON INSTITUTE

<https://www.hudson.org/defense-strategy/quick-dead-how-adaptation-contact-drives-military-advantage-bryan-clark-dan-patt-ian-crone>

Hudson Institute

MARCH 2026

The Quick and the Dead: How Adaptation in Contact Drives Military Advantage

BRYAN CLARK, IAN CRONE, DAN PATT

The Quick and the Dead：接触下の適応が軍事的優位を決める — 要約 (1/2)

中核命題：学習速度が火力に優越する

反復する交戦のなかでより速く適応する部隊は、火力や装備で勝る相手を決定的に打ち破りうる。軍事的優位は「何を保有するか」から「どれだけ速く学べるか」へ移行している。

ウクライナが示す証拠

電磁波戦、通信網、飛行プロファイル、弾頭が数年ではなく数週間単位で変化し、性能向上は意味を持つ前に陳腐化する。

次の軍事革命：Adaptation in Contact

交戦がデータを生み、戦術とソフトウェアを迅速に更新し、検証済みの変更を敵が反応する前に配備する — 学習サイクルそのものの兵器化。

事例：海上ドローン戦

交戦テレメトリを用いて設計とペイロードを反復改良し、黒海艦隊の接近を拒否した典型例。

米軍の制度的障壁と処方箋 — 要約(2/2)

障壁① 戦う者と装備する者の断絶

前線の部隊と装備を調達・供給する組織の間に隔たりがあり、学びが装備に還元されない。

障壁② 作戦と情報の間の壁

交戦から得た情報が作戦側の改善サイクルに即座に流れ込まない。

障壁③ 予測された要求への依存

事前に予測した所要に基づく調達は、週単位で変わる戦場の現実には追従できない。

処方箋：デジタル基盤の整備

情報パイプライン、シミュレーション環境、安全な配備チャネルを整え、戦術エッジへの更新を数時間で届ける。

結論：基盤こそが次世代の戦闘力

この基盤を複数の開発ループに連合させることで、洞察を実戦配備へ変換し、AIの潜在力を作戦テンポで実現する。